

2020年5月4日(月)

DL Session 1 アンケート 全学年に関わる件のご回答

Q1. 学習時間が通常より短くなっていて心配です。また、時間割がないことで集中して勉強できていないことにも困っています。

A. 学習時間が短いことについては、いくつかの理由が想定されます。

①Session1 ではわかりやすく説明しようと基礎基本の内容に重点をあてたために、すぐに理解ができてしまった。

②通常授業であれば「導入・問い・各自の考察・意見の交換・要点のまとめ」という流れで授業がすすむが、動画解説では「問い・要点の解説」という短い流れになってしまう。

③学習の指示に従わずに、すぐに終わらせてしまった。

①については Session2 以降では、「長期的に取り組む課題や応用問題」を提示していきます。生活科ではけん玉検定や植物観察、社会科では調べ学習を始めます。また、5・6年生では国語や算数の応用問題集を活用した学習、中学部では新中間を用いた演習と解説の時間などを加えています。

②については、友だちの作品に関する感想を書いたり、ZOOM で意見交換をする機会を持つなど工夫していきます。

③については、学年によって必要だと判断した場合は、1つの課題に取り組む標準時間を示したり、時間割を提示していきます。課題提示が動画であれば、止めながら説明を聞いたり、数回見直すなど、提示された時間を十分に使って理解が深まるように支援していきます。

Q2. 授業の進度は遅れていませんか？

A. 理科の実験・体育・音楽のような実技をともなう単元や教科については、十分な指導ができていませんが、教科書に沿った学習については、通常の進度ですすすめています。

Q3. ZOOM の時間を増やして欲しい。その逆で、ZOOM は家庭生活の流れに合わない場合があるので増やさないで欲しい。

学年によりニーズが分かれていましたが、ZOOM を活用する場合は次の目的が考えられます。

- ①意欲づけや学習の流れを確認するため・・・朝の会、HR での活用
- ②新たな概念を学ぶ時や細かい説明をするため・・・導入や口頭説明が必要な学習での活用
- ③意見交換、質疑応答をしながら学習するため・・・学習のまとめ、演習での活用
- ④小人数学習をおこなうため・・・English Conversation、個別の質問に答えるための活用
- ⑤友だちとの交流・グループ活動のため・・・学級活動・委員会活動での活用

欠席者がいる場合は録画をしますので、ZOOM 授業に参加できない場合で③④以外の時は、ZOOM 録画を活用してください。

Q4. 保護者が支援することが増えてしまい、戸惑っています。

A. DL になり、保護者の皆様には様々な面でご協力をいただき、教職員一同、本当に感謝しております。2 週間のセッションが終了するごとにアンケートをとり、皆様のニーズをお知らせいただき、ご相談を重ねてまいります。

また、子どもたちが新しいことを習得していく力は、大人が思っている以上に大きなものです。各担任から「徐々に自分でできるようになって欲しいこと」をお伝えしたり、自分で目標を立てられるように支援してまいります。

Q5. 友だちと一緒に学んでいた時に比べると、学習へのモチベーションが落ちているようです。

A. 学年や教科によっては、下記のような活動を取り入れます。

- ・友だちの作品に触れる機会をつくる
- ・ZOOM で学級全体で学習する機会をつくる
- ・友だちの作品に感想を書く機会をつくる
- ・ペアやグループで課題に取り組む機会をつくる
- ・他学年と交流する機会をつくる

Q6. English Easy・Medium・Hard のクラスがいつもと違うのでわからないことが多いです

A. 小学部では「お知らせ」の欄に、中学部では「Homeroom」の欄に、English クラスの取り

組みかたの説明を載せました。English Easy・Medium については、インストラクションオーディオも加えたので、その指示にしたがって、課題に取り組んでください。また、5月中旬から English Easy・Medium・Hard のレベル別クラスに分けて、ZOOM で解説をする授業を始めます。

Q7. 指示がわかりにくい教科があるのですが

A. 特に Session1 ではわかりにくい箇所が多々あり、大変申し訳ございませんでした。打ち合わせを重ね、今後も日々、研鑽を続けてまいります。

Q8. English Conversation のクラスに入れなかった場合、どうしたらよいかわかりにくいです

A. English Conversation クラスは3学年合同グループが5分休憩をはさんで20分のコマで午前午後と連続で行われているため、一部担任の先生が行っているように Google Classroom に ID と PW を貼り付けておく方法では運営しにくく、保護者の皆様にはこれまでご不便をおかけし、申し訳ありませんでした。5月5日(火)より、下記のように、事務局に聞いていただければその日のうちに Makeup クラスに参加できるように改善いたします。

①これまで通り事前に、English Conversation Class 担当の Ms.Fordham・Ms.Mariano から各クラスの ID と PW をメールで送ります。このメールを同時に事務局にも送り、事務局でもすべてのクラスの ID と PW がわかるようにします。

②万が一、指定の時間に入れなかったり、遅れた場合、学校事務局 310-325-7040 に電話してください。ご家庭とご相談して、現在行われている授業、または Makeup 授業の ID と PW をご家庭にお伝えします。但し、1日の最後の時間に入れなかった場合は、次回別日の Makeup を事務局とご相談ください。

③送られてきた PW と ID で入れない時は、そのメールが当日送られてきたものかどうかをご確認ください。ZOOM はその都度、新しい ID が発行されるので、以前のメールの ID と PW では入れませんので、ご注意ください。

④いずれはグループを変えていくことを考えていますが、今しばらくは、トラブルなく学習を進めることを優先して、小学部でのグループ替えは行いません。学習時間やグループ変更をする場合は、1週間以上前に、Google Classroom の【お知らせ】欄でご連絡した上、朝の会でも確認をし、各ご家庭にもその時間で大丈夫かどうか確認を取った上で、変更いたします。

Q9. 学力が低下するのではないかと心配です。

A. 西大和学園カリフォルニア校は私学として、これまで基礎基本の学力以上の力を育成することを目指してきました。急なDLの導入で、これまでと同等の高い教育をご提供できてないことは、誠に残念であります。

5月1日付の文部科学省よりの通達「新型コロナウイルス感染症対策臨時休業を行う場合の学習の保証等について」では、「計画性をもって教科書に基づく家庭学習を提示すること」「ICTを活用して学習指導や学習状況を把握すること」「児童生徒の心身の健康状態を把握すること」等、3点の指示がございました。

上記の学校の役割を踏まえるとともに、「教科書に基づく基礎基本の学力」ができる限り保障されるように、取り組みを続けます。特にSession2以降は、教科書に準拠した単元テストを活用して、基礎学力の定着を把握してまいります。また、登校が可能になりましたら、DL期間の学習成果のうち必要と思われる箇所について、復習を行ってまいります。

Q10. 成績はどのようにになりますか。

4月10日付の文部科学省の「新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休業に伴い学校に登校できない児童生徒の学習指導について」では、「家庭学習の学習状況や成果を確認し、学校における学習評価に反映することができる」「十分な学習内容の定着が見られる場合は、各学年の進級、進学に不利益がないように配慮することができる」と通知がありました。

文科省認定校である本校は、2020年度の最終的な評定方法は、今後伝達される文科省の通知に従うこととなりますが、日本とロサンゼルスでは、学校が休校になる期間の長さや、回数、休校の時期が異なることが予想されます。どのような場合でも、DLをかかさず受講するようことで、通常の教育課程に近い進度で学習を行ったことを記録し、成績算出が適切である学年においては、教科書に準拠した単元テストを活用して基礎学力の習得に重点をおいてまいります。これに加え、高校受験が課題である中学部については、「中間期末考査」を「中間期末確認テスト」に改定し、模試も活用しながら、私学としての学力を育成できるよう検討しており、追ってご説明させていただきます。

学期末にお渡す通知簿については、各学校の裁量で内容と形式を決められることになっており、どのような形式で、各学年に適した「子どもたちの頑張りの足跡」を記録していくか、小中学部に分かれて検討しているところです。

西大和学園カリフォルニア校

校長 小倉 佳恵